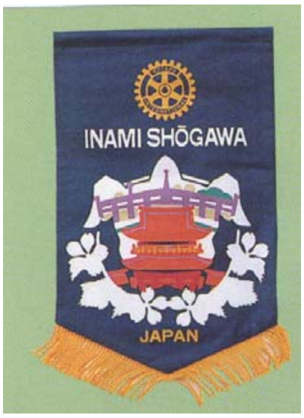

２００８－０９年度 RI テーマ

RI 第２６１０地区
井波庄川ロータリークラブ会報

2008－09 年度　No.39　6 月 3 日発行

事務局　〒932-0211　富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内
TEL&FAX　0763-82-4318、inashorc@athena.ocn.ne.jp

2008-09 年度　会長　小西　勝　、幹事　高瀬　顕正

「夢をかたちに」
(李東建会長)

～～

① 例　会　記　録「地区協後のC.A.」

② 特集「ロータリーよ　どこへ行く」Ⅹ

①第１４７３回例会

平成２１年５月 20 日(水)　井波文化センター

１．点鐘　小西会長

２．ソング「我等の生業」

３．会長の時間…「ＩＭ報告書が来ました。18 頁に評判だった川那辺さんの話が掲載されています。この前の日曜は、地区協でした。9 名の方ご苦労様でした。高柳ガバナーは、新型インフルエンザの感染がなくてよかった、あれば中止も考えられた。でも、あんまり騒ぎ過ぎないように。弱毒性で、季節性インフルエンザと変わらない、との事でした。上田会員など旅行を扱う人はキャンセル騒ぎで大変ですね。都会はピザ配達がいそがしいとか。任期もあとわずか、すぐ、ごみゼロ、氷見ＲＣ40 周年、庄川クリーン作戦、第３分区新旧会長幹事懇親会、南砺ＲＣと会長・幹事会、大手町ＲＣチャーターナイトと行事がしばらくは続きます。」

４．幹事報告…「①５月３０日、６時半大門川河川敷公園・木彫りの里に集合です。コンテナの手配、ゴミ袋の手配、軍手の手配：勝星産業へ、横川会員にトラック配車を依頼し、参加者にパンとお茶を川那辺さんに依頼します。②理事会報告ですが、前回例会後、緊急理事会で、宮崎会員からの退会届を健闘しました。お母様の介護に大変手がかかるという事情もあり、受理する事になりました。また、事情が変われば再入会も促します。」

５．委員会報告…①出席委員会(代理)：23 名中 13 名出席(出席免除者 7 名中 4 名出席)・・・出席率 65.00%

６．**ニコニコ BOX**(SAA 代理高瀬幹事：本日 5 名 5,000 円)

横山豊介会員：写真有難う御座います。
斉藤会員：地区協お礼。小西会長夕食会手配感謝。
荒木会員：田植え終わり、となみ野は緑一色です。
三角会員：写真お礼。
山本会員：川那辺さん、写真お礼。
(5 月計　28,000 円：年度累計　356,000 円)

Ｃ．Ａ．「地区協」斉藤彰エレクト

斉藤エレクト：昨日田植えが完了。３月のＰＥＴＳ、５月の地区協が終わればいよいよ次年度が始まります。

先日の地区協での、中川可能作ガバナーエレクトの話は、先日のＰＥＴＳの報告とダブるので、簡単にします。次年度は、この経済状況なので、決して華美に走らぬように、ＩＭも考慮に値するので決して推奨はしません、米山記念奨学制度は、世界に冠たる奨学制度なので、力を入れてもらいたい、との事でした。今年の地区協は、分科会がなく全体会で、各地区委員長が５分の持ち時間で次年度活動方針を発表されたが、それぞれ時間を守らない委員長が多いのには辟易しました。

それから、高柳ガバナーの挨拶で、現在ガバナーノミニーが未定である事、名門クラブといわれる老舗のクラブが何とかするのが本筋、と少しこれまでの対応に苦言を呈され、暗に指されたクラブは熟考すべきと思われました。

次年度は「楽しみながら、人間を磨こう」というテーマです。人間を自分に置き換えてもいいと思います。宜しくお願いいたします。7月1日は新年度初例会、8日ガバナー補佐事前訪問（日中の例会)、15日夜間新年度懇親会、29日ガバナー公式訪問となっております。そして、10月４－5日が地区大会（金沢ＡＮＡクラウンプラザホテル・県立音楽堂）です。

卓話「･･･」荒木憲一会員

荒木会員：雑誌委員長ということで、「ロータリーの友」を読んで、ポリオについて勉強してみました。

ポリオはウィルスで、経口感染し、小腸で増殖、脊髄に入り脳へ至ります。子供が多く罹り、小児麻痺とも呼ばれています。感染すると、４―5 日発熱し、解熱後に四肢麻痺が残ります。一旦罹ると神経細胞が麻痺し、元に戻らないのです。治療薬はなく、検査も費用が高く時間もかかります。

ポリオには、ワクチンが有効で、４℃以下で保存します。１・２・3 型プラス１型があり、ワクチン投与は、５歳くらいまでに、数滴または十数滴を経口摂取します。冷蔵庫に保管し、運搬にはドライアイスで行います。日本では、生後２歳までに２回摂取を義務付けています。アメリカでは、ワクチン接種していない子は学校に通学できません。

国際ロータリーが、この活動を積極的にしてから約２２年、１９８８年に３５万人だった感染者数が、２００８年までにわずか 1618 人にまで減少しました。これは世界の保健分野全体で飛躍的な進歩で、99％撲滅したと言えます。

ポリオ撲滅運動は、ＷＨＯ、ユニセフ、ロータリーの三者で推進していますが、ワクチン投与に協力的でない国もあり、ボランティアの力を借りねば出来ません。市民に場所や時間を提供してもらわねばなりません。現在のポリオのウィルス常在国は、インド北部、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアですが、イスラム教の国は宗教上の問題もあります。インドは５歳以下の人口が１億 7900 万人で、そのうち数万の患者がいるのではないかといわれ、ロータリーでは啓蒙活動をさかんにしております。パキスタンやアフガニスタンは紛争地帯で、難しく、ナイジェリアは、定住しない民族が多く、ワクチン接種が出来ません。これらの 4 国は感染が広がりつつあります。

これまでに、国際ロータリーはじめ、ポリオ撲滅に約 50 億ドル費やされてきました。しかしまだ 10 億ドルが必要とされています。

【ビルゲイツ財団は、第 2 の天然痘にと、ポリオ撲滅に 1 億ドルを寄付していましたが、さらに 2 億 5500 万ドルを追加で提供します。国際ロータリーに対して、2 億ドルを用意するよう働きかけています。早く、ポリオが世界中から一層されて過去の病気になってほしいものです。（山本）】

【編集後記】

地区協へ行って、何か違和感を覚えました。後で高柳ガバナーの話の中で、ガバナーノミニーが決まっていないことだと言われ、はっとしました。今までなんでもなかったこと・当たり前であったことが、そうでないとき、人間は、どうしてそうならないのだと責めます。そうなったときに初めて、それまでの長い歴史には、多くの人々の努力の積み重ねがあって、ごく当たり前のことが出来ていたのだと、ようやく気がつくのだと思いました。当たり前のことが出来るためには、尚一層の努力が必要なのだろうと感じました。

ところで、荒木会員の卓話でポリオの話は、改めて聞いてみると、なかなか病気の撲滅は難しいものということが実感できます。いかに予防をしっかりするか、発生する源を断たねばならないのですから、その作業たるや、しっかり組織を動かさねば実現できません。「上流へ向かえ」このポリオの予防の基本は、母親教育、識字率向上なのかもしれません。

(山本武夫)

特集　ロータリーよどこへ行く　⑩

ロータリー情報委員長　木村英典

シリーズX　**『ほどほどに』**

週刊誌は、待合室でパラパラと頁をめくる位のもので、わざわざ買ってまで読むことは滅多にないが、新聞に載る広告だけは必ず目を通す。勿論目次だけを羅列したワンフレーズの紹介であるが、新聞やテレビでは見せられないスパイスが効かせて、食欲を駆り立てるものがある。「麻生よ図に乗るな…小沢失速で絶ロ調」「小沢民主、なぜ闘わない」などのトップ見出しの陰に小さく「国際理事、選挙直前のライオンズクラブで訴訟騒ぎ」の小さな見出しが目に止まった。わが良きライバルのこととあらば見過ごすことも出来ない。早速書店で買い求めて見たその内容はこのようなものであった。

ライオンズ 330-A地区といえば、日本のど真ん中、東京地区で 3 年前にこの騒動は起きた。その主役であるＬＣＩＦコーディネーターの肩書きを持つＡ氏が地区ガバナーのとき、賃貸しで持っていたクラブ事務所を、経費削減を理由に購入することになり、新宿の物件をＡ氏が探し出してきたという。

駅からも近く、１階にはコンビニも入っていて便利ということで、そのビルの２階部分を 9,500 万で購入したのである。

ところがその 1 年後、コンビニが入っている１階がＡ氏の夫人が経営する会社が所有していることが分かった。つまり、セットで安く購入した物件のうち、不用の 2 階部分をクラブに押しつけたという訳である。

そしてこの記事は、こんな談話で締めくくられていた。「お恥ずかしい話ですが、今回の訴訟騒ぎは、Ａ氏を支持する一派と反対する一派による内紛のようなもの。会員の大多数は冷ややかな目でみていますよ。」

珍しくもない、どこにでもある話である。この程度のもので、ロータリーは負けてはいない。あれほど世間を騒がせた、北海道苫小牧市の「ミートホープ」牛肉ミンチ偽装事件など、それらのトップがロータリアンであったことは公然の秘密として広く知られているところである。

企業や経営者のモラルハザード（倫理欠如）やコンプライアンス（法令順守）など、ロータリーが叫び続けてきたこの当たり前のことが、100 年を過ぎた今になっても無くならないどころか、増え続けているように思えてならない。
「やってもいい事」と、「やってはいけない事」の境目には、必ず「やらないほうがいい」というグレーゾーンというものがある。

この境界線の一歩手前で踏みとどまっていれば、企業が存続を危ぶまれるような致命的打撃を受けずに済んだというケースがいかに多いことか。ロータリーは、何も世のため人のために出来もしないことをせよと言っているのではない、新聞沙汰になるような悪い事だけはやめてくれ、何事も「ほどほどに」といっているだけである。